



# ぼらんていあ通信

9月号  
通巻 No.490

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年9月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



## 3年ぶりの開催で～す！

# ほかほかふれあいフェスタ2022

障がいのある人もない人も みんなで楽しむ市民のまつり "ほかほかふれあいフェスタ2022" が 3年ぶりに開催されます！



10月15日(土) 12:30~15:30  
あじさい会館&ウェルネスさがみはら前広場

### ☆あじさい会館(6階ボランティア活動室)

- ・要約筆記グループ活動内容の展示
- ・車いす体験
- ・作品展示

### ☆あじさい会館ホールステージ

- ・ヒップホップダンス
- ・チャアリーディング
- ・手話ダンス

### ☆ウェルネスさがみはら前広場

- ・バザー
- ・ミニSL
- ・ステージ(車いすダンス・バンド演奏・よさこいソーラン  
大道芸・阿波踊りなど)



ポスター作成  
さがみはら若者サポートステーション

### ☆あじさい会館ロビーでは10月12日~15日の間

相模原中央支援学校・相模原養護学校の生徒さんたちの作品を展示しています。

ボランティア  
さん大募集!

## フェスタ当日のボランティアさんを募集しています!!

|           |     |             |                   |
|-----------|-----|-------------|-------------------|
| ①広場のテント設営 | 10名 | 9:00~10:00  | ウェルネス前広場          |
| ②ホールの会場準備 | 5名  | 9:00~15:30  | あじさい会館ホール         |
| ③ホールの受付   | 2名  | 12:00~15:00 | あじさい会館ホール         |
| ④総合受付・案内  | 2名  | 12:00~15:30 | あじさい会館1階ロビー       |
| ⑤展示案内     | 2名  | 12:00~15:30 | あじさい会館6階ボランティア活動室 |
| ⑥広場の補助    | 5名  | 12:30~15:30 | ウェルネス前広場          |
| ⑦ホール片付    | 5名  | 14:50~15:30 | あじさい会館ホール         |
| ⑧広場のテント片付 | 10名 | 15:30~16:30 | ウェルネス前広場          |



当日8:50にあじさい会館1階ロビーに集合してください。担当と進行を確認します。

10月8日(土)までにご連絡ください。皆様、お手伝いをよろしくお願いしま～す!

\*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181

さがみはら市民活動サポートセンターによる

登録団体紹介パネル展開催される!

ボランティア協会のパネルも!

相模原市役所1階フロア左奥で、8月25日(木)〜9月7日(水)までの2週間にわたり9時〜5時(最終日4時)の間、パネル展が開催された。最終日の午前中に取材。ボランティア協会のパネルが見出しで「あなたの参加を待っています。一緒に活動しませんか」と呼びかけているのが強く印象に残った。

今回紹介されていた団体は次の9団体。

- ・ NPO法人緑のダム北相模
  - ・ NPO法人市民フォーラムさがみはら
  - ・ ママさん+ 相模原133隊
  - ・ 大船渡支援相模原市民ボランティアの会
  - ・ 一般社団法人倫理研究所 家庭論理の会相模原
  - ・ 認定NPO法人相模原ボランティア協会
  - ・ フラインドールサポート相模原
  - ・ 相模原市車いす友の会
  - ・ 民間非営利組織
- 最後まで良い人生をめざす会・相模原

大船渡支援相模原市民ボランティアの会の活動をパネルから紹介。

- (学習) 3・11のついで 震災の体験から学ぶ
- (伝言) 震災絵本「はらこびつみ」

子どもたちに語の継こつ東日本大震災を!



【問い合わせ先】

さがみはら市民活動サポートセンター  
相模原市中央区富士見6-6-23  
けやき会館3F  
TEL・FAX 042-755-5790

(募金活動)「立ち上ろう公民館」プロジェクト

被災した公民館を再建するための

募金活動

(現地へ) 大船渡支援 銀河連邦の旅

実際に行つて学ぼう、食べよう、つなごう

なごろう

(備える) 簡易トイレ作成と防災学習会

(山崎)

\*パネル展の今後の予定

☆10月1日(土)〜30日(日)

ユニコムプラザさがみはら

☆11月27日(日)〜12月14日(水)

ソレイユさがみ



10月の記念日は?

小倉義男

10月14日、クマのプーさん原作デビューの日です。世界中で愛されている「クマのプーさん」の原作が発売された日(1926年10月14日)を記念日として制定したのは「ウォルト・ディズニー・カンパニー株式会社」。プーさんとゆかいな仲間達が楽しく暮らす100エーカーの森にちなみ、環境・森林保護を考える日としているそうです。

あとは、クマのプーさんといえば、フィギュアスケートの羽生結弦さんですね。

小倉画



クイズに挑戦

動物関連クイズです。

①鳥賊(とうさく)あなものはいっ...

ア 心臓 ①目 ②口

②フタのこぶには何が詰まっていますか?

ア 脂肪 ①水 ②血液 ③膏

③キリンの睡眠時間は?

ア 20時間 ①7時間 ②20分 ③寝ない





市内活動グループ訪問記

けん玉

けん玉で地域交流をする  
特定非営利活動法人けん玉の会

継続支援B型事業所フレンドを訪問しました。サ  
ービス管理責任者の鈴木直介さんと、同じけん玉の  
会の第3けん玉施設長山田龍さん(やまだのりお)も少し離れた所  
にある作業所から来ていただいております。二人はけん玉が得意で今年10月15日開催予定の  
「ほかほかふれあいフェスタ」に、けん玉で参加し  
てくださいます。

けん玉の会は平成4年に精神障がいのある方々の  
家族から障がいがあっても通える場所があるとい  
ね、という話から第1けん玉作業所、その後第2けん  
玉作業所、第3けん玉作業所ができました。令和  
2年に第1、第2が一緒になって就労継続支援B型  
事業所フレンドになりました。今までの第1けん玉  
作業所を主たる事業所に、第2作業所を従たる事業  
所としました。



特製のけん玉でポーズ  
山田さん(左)と鈴木さん

全員通所でフレンドの方は36名、第3けん玉作業  
所の方は20名  
です。知的障  
害の方もいま  
す。同じ敷地  
内にある配管  
接続部品等を  
製作している  
企業から受託  
して組立、検



3種類のけん玉  
左からコロソフ、スーラボ、秋元悟  
の各モデル



査、梱包までを行っ  
ています。他にも一  
シャツに独自のデザ  
インでプリント製作  
してインターネット  
で販売まで行ってい  
ます。1600種類  
ものデザインは利用  
者さんの作品だそう  
です。凄い数ですね。

けん玉は、けん玉  
の会の交流部会として、けん玉先生の資格を持つお  
二人が地域との交流を深めるために近くの公園など  
でけん玉教室を開いたりしています。今回は9月17  
日(土)に地域内の公園で開きました。利用者さん  
には無理強いする事なく、やりたい人と一緒に楽し  
んでいます。

3種類のけん玉を見せていただきました。玉がラ  
バー加工、フリクションクリア加工など大会の規定  
にのりでも使い分けのものが揃っています。モデルも色々あり、  
コロソフモデル(アメリカ産)、スーラボモデル(川  
越のオリジナル)、秋元悟モデル(国産)があり、  
技に至っては3万種以上もあるそうです。

地域のお祭りや盆踊りなどに参加して、地域の  
人々にけん玉の会を知ってもらい、好きになっても  
らうためのあれやこれやの中の1つがけん玉です。  
と熱く語ってくれました。お二人のけん玉愛とけん  
玉愛を感じました。

最後にけん玉の実演を見せていただきました。カ



皆で楽しくけん玉



未来はけん玉チャンピオン!?

チツ、カチツ、カチツとお二人がリズムを取りなが  
ら体を動かし、発せられる音が気持ちよく楽しい気  
持ちになりました。最後に体験させていただきました。  
難しかった。山田さんは世界ギネス認定証を  
持ち、お二人は紅白歌合戦のステージで演歌歌手の  
バックで行った経験もあるそうです。今年も参加で  
きるのいいですね。

\*就労継続支援B型事業所フレンド

T25210331

相模原市南区大野台1-9-49

♪ 写真には写っていませんが、小さなお子さまから大人まで、  
また家族連れの方々、老若男女の参加で楽しく行われていました。

理事会報告



9月10日(土) 理事会(理事5名出席)

1、報告事項

- ・市社協から助成金が入金された。
- ・市より昨年度ハンディキャブ運行での燃料費高騰に対する助成金が支給された。

2、委員会報告

- ・広報委員会  
ほかふれフェスタを案内する。
- ・ハンディキャブ委員会、事務局委員会  
10月29日運転者交流会を開催(傾聴委員から何人か参加する)。
- ・ハンディキャブ安全運行管理記録表を修正する。

・講座検討委員会

来年春季の講座を企画している。昨年同様ボランティア活動の見本市のようなものになる予定。

・傾聴委員会

新規傾聴入会者の活動を進めていく。

・DVD制作委員会

ボランティア5分インタビュー番組を作成中で、フェイスブックとホームページにもアップする予定。

・その他

10月15日(土)ほかふれあいフェスタを開催する。  
(10月1日の広報誌がみはりに掲載される)

3、審議事項

- ・新春ボウリング大会開催の可否は11月理事会で決定する。
  - ・役員改選のための役員選出管理委員会委員を選出した。
- 次回理事会は10月8日(土) 10時より

相模原ボランティア協会 10月の予定

| 日(曜)  | 時間     | 内容         |
|-------|--------|------------|
| 2(日)  | 10:00~ | HC委員会      |
| 7(金)  | 14:00~ | 講座検討委員会    |
| 8(土)  | 10:00~ | 定例理事会      |
| 18(火) | 10:00~ | DVD制作実行委員会 |
| 19(水) | 10:00~ | 傾聴委員会      |
| 22(土) | 13:00~ | 事務局委員会     |
| 24(月) | 13:00~ | ぼら通10月号印刷  |
| 25(火) | 13:00~ | ぼら通10月号発行  |

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に  
使わせていただきます。  
<8月の寄付者>  
2名の方からご寄付をいただきました。  
<8月の寄付金>  
10,400円でした。

あら ほんと?

森林火災を防ぐため、オーストラリア先住民の人々が復活させた伝統的手法とは火入れ?植林?放牧?

火入れだそうです! オーストラリア北部の乾期は、4月から7月までの前半は気温が低く、地面に湿気が残っています。また、この時期は植物も水分を含み、風が弱く気温が低いいため、火をつけても火勢は弱く、狭い範囲にとどまります。あらかじめ軽く燃やしておけば、乾期後半に発生する森林火災の被害が抑えられ、消火できる可能性が高くなるのです。火をもって火を制する発想は昔からあり、温暖化で森林火災の頻度も勢いも増すなか、世界中の森林管理の専門家は火災を管理する伝統的な手法への回帰を呼びかけているそうです。

\*ナショナルジオグラフィック ナショジオクイズより

クインの森



- ①はアの心臓。  
速く活発に動くため酸素が大量に必要なため心臓が3つあるそうです。1つがメインで、残りの2つは補助的な心臓だそうです。
- ②はアの脂肪  
過酷な砂漠で生き抜くため、必要な栄養素を脂肪としてコブに蓄えているそうです。
- ③はアの20分  
キリンは立ったまま睡眠をとり、立っている状態での睡眠は仮眠となります。身体を丸めて完全に寝てしまう時間は「20分」だそうです。



市の総合防災訓練に参加して

杉本 榮治



9月4日(日)に相模原市総合防災訓練があり、相模原災害ボランティアネットワーク(SSVNZ・ボラ協は団体会員)として参加しました。

来年は相模原市が九都市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)合同の防災訓練の幹事団体に当たるため、そのリハーサルの意味もあって例年に増して力が入っております。このような訓練が行われたかについては市に紹介させていただきます。

SSVNZの役割は例年の通り市社協と共同で仮想災害ボランティアセンターを運営するということです。

朝7時45分SSVNZの倉庫に集まり、荷物を積み込み、会場(相模原駅裏の相模中央補給廠跡)に向かいました。会場にはすでに消防車や救急車、自衛隊の車両などが集まっております。訓練用の土砂に埋められた車や家屋、損壊した道路などが設置されており、物々しい雰囲気を感じていました。市社協とSSVNZの仮想災害ボランティアセンターでは、持参したパネルや防災グッズを展示したり、ボランティア募集票や指示書を準備し、自治会の訓練(消火、避難所運営、...)等をボランティア活動で見学し、各自自治会に指示書を渡し、終了後報告書や反省会といった簡単なものでしたが、実施してみても色々な問題点も発見され、訓練の重要性を改めて認識することができました。



会場の様子です



相模原災害ボランティアネットワークについて

杉本 榮治

ボラ協は相模原災害ボランティアネットワーク(以下SSVNZ)の団体会員になっておられる年ほど前から私が派遣された運営委員になっていきます。

SSVNZは各市にあり、それをまとめる県のSSVZがあります。SSVNZは阪神淡路大震災を契機として組織されたボランティア団体で、その主な任務は社協に協力して災害発生時に開設されるボランティアセンター(以下VCC)の立ち上げ・運営をするのですが、平時には、ボランティアコーディネーター養成講座開設、SSVNZ自身のスキルアップ研修、学校体験学習、市防災訓練での疑似VCC運営、防災とボランティアの集いのブース、自治会の防災訓練参加、など防災に関する各種活動を行っています。

先口コロナの影響で遅れていたスキルアップ研修を行いました。従来は学校体験学習で行うフルシートによる簡易テントやロープワーク、あるいは三角巾の使い方が主でしたが、今回は災害が発生した際の市社協との連携について会員が改めて学習する目的で市社協から派遣されている井上氏に講師をお願いしました。

社協では先の津久井・相模湖・藤野地区の水害での経験を踏まえ新たにマニュアルを作成しており、それを資料として講義していただきました。近年温暖化の影響もあり各地で水害が発生しており、また首都圏での直下型地震が近いと報道されております。SSVNZとしても会員の増強を図り、それに備えなければならないと考えていますが、会員の高齢化もあって、災害が発生した時動ける人数が減少しております。ボランティア協会の会員の中で協力いただける方は是非加入していただきたいと思っております。



## 子どもの居場所づくりセミナー 学習支援講座 「無料塾ってなあに？」を開催！

「親世代の収入格差を次世代の学力格差にしないために」をミッションに、無報酬で子どもたちに勉強を教えるボランティア講師と、支援者からの寄付が活動を支える「八王子つばめ塾」。開設から10年の節目を迎え、これまでの歩みを未来につなげるために、あらためて無料塾の意義と可能性について語っていただきます。「子どもたちのために何かができるのか」を一緒に考えてみませんか？

日時 令和4年10月2日(日) 午後2時～4時30分  
(午後1時45分～受付開始)

場所 ユニコムプラザさがみはら セミナールームⅠ  
(南区相模大野3-3-2 ボーノ相模大野サウスモール3階)

講師 認定NPO法人八王子つばめ塾理事長 小宮 位之(こみや たかゆき)氏

対象 学習支援に興味のある方40名(定員になり次第、受付終了)

申込 右上の二次元コードを読み取り、専用フォームからお申込みください。

※電話やメールでのお申込みも可能です。①参加者氏名、②電話番号、③在住地区名を必ずお知らせください。



**費用無料!**

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト  
…2学期が始まったよ!》

山口尚美画



### ボランティア協会 事務局員 募集

協会の事務局員(ハンディキャブ運行調整などの事務・庶務)として活動してみませんか?

活動場所: あじさい連絡所

あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

活動内容: 週1~2日、1日5時間程度

※ハンディキャブ運行調整などの事務

※特定非営利活動法人の事務処理、運営業務の事務処理など、簡単なパソコン作業

※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡・問い合わせ先: 協会事務局 042-759-7982



北公園も  
曼殊沙華が!

編集後記  
コロナ・猛暑と大変な夏でした。よじやく虫の音も聞こえてきてホッとしました。  
今日は十五夜、すすきと団子を飾って気持ちよく過ごしたい。(杉)